

令和8年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立清新第一小学校

校長名 金木 圭一

学校の教育目標	◎思いやりのある子 ・進んで学習する子	・体をきたえる子 ・最後までやりぬく子 (◎は重点目標)
----------------	------------------------	---------------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標
<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>

学校の総合的な学習の時間の目標
<p>1 地域の問題や社会的な問題から課題を見いだし、探究活動に進んで取り組む能力と態度を育てる。</p> <p>2 社会的な事象や科学的な事象を今までの経験や体験と関連付けて考えたり、目的をもって調べたりするなどして、よりよい学び方や考え方を身に付けられるようにする。</p> <p>3 自分たちが考えた課題について、友達と協力して解決することができる態度や能力を育てる。</p> <p>4 情報機器の活用において、自他の思いや願いを意識する活動を通して、情報モラルを育成する。</p>

育てようとする資質や能力及び態度	
知識・技能	
第3・4学年	第5・6学年
・課題解決を目指して、事象を比較したり、関連付けたりして考えることができる。	・問題状況に応じて事象間の因果関係を分析したり、推論したりすることができる。
思考・判断・表現	
第3・4学年	第5・6学年
・自然や生命の不思議さを感じたり、いろいろな事象に対して疑問をもったりする。	・自分が疑問に思ったことから、調べる活動を通して、その疑問を解決し、新たな課題を見付けようとする。
主体的に学習に取り組む態度	
第3・4学年	第5・6学年
・問いを立て、探究的学習の充実を図る。	・問いを立て、探究的、協働的学習の充実を図る。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	・身近な自然環境と生き物 ・小松菜栽培の歴史 ・バリアフリー	・身近な自然環境と生き物の関わり。 ・江戸川区の特産物である小松菜の歴史と文化。 ・共生社会の実現に向けて障害への理解。
第4学年	・東京都の歴史や文化 ・自然災害からの身の守り方 ・誰もがぐらしやすい社会(高齢者との関わり)	・東京都の歴史や文化。 ・災害(荒川氾濫等)からの身の守り方。中学校と連携しての総合防災訓練(起震車、煙ハウス、初期消火体験) ・共生社会の実現に向けて障害への理解。
第5学年	・食をめぐる問題 ・自然環境を守る ・雪国の人々の工夫と生活	・日本の農業の良さや抱えている問題。 ・環境問題と自分たちの生活の関わり。 ・雪国の人々の工夫と生活。
第6学年	・世界遺産 ・伝統を受け継ぐ ・将来に向けて	・世界遺産の重要性、守るべき価値、保全。 ・伝統文化の歴史的背景や文化の継承。 ・将来に向けてのキャリア教育。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3年生は身近なもの、障害者理解教育、4年生は東京都について、防災(起震車、煙ハウス、初期消火体験)、高齢者との関わり、5年生は食育、自然環境。6年生は世界遺産、キャリア教育を主な学習活動とする。 ・単元については、主なテーマを中心とする。	・児童が学習に対する問いを立て、探究的、協働的学習の充実を図る。 ・探究的活動を通して、周り対話や体験を中心とした意見の交流を行う。 ・自分に合った個別最適な学習を行う。	・教育課程編成委員会における校内の連絡調整と支援体制の確立。 ・カリキュラムの作成と運営管理。 ・地域の人材や専門家との連携した学習支援。 ・近隣の中学校との連携。	・目標、指導、評価の一体化の充実。 ・学年末における指導計画の評価の実施。 ・授業分析による学習指導の評価。